

No.65

津地区の景況調査

平成26年下期実績と平成27年上期見通し
(平成27年1月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	売上の現状	8
4	利益状況	9
5	販売条件と仕入条件	10
6	設備投資	12
7	資金繰りの動向	12
8	借入の動向	14
9	借入予定と借入希望先	14
10	経営上の問題点	16
	調査票	18

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,154企業を対象に実施。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成27年1月5日～1月9日
5. 調査対象期間 平成26年7～12月実績と平成27年1～6月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 293（回収集計率 13.6%）
うち小規模企業 183
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

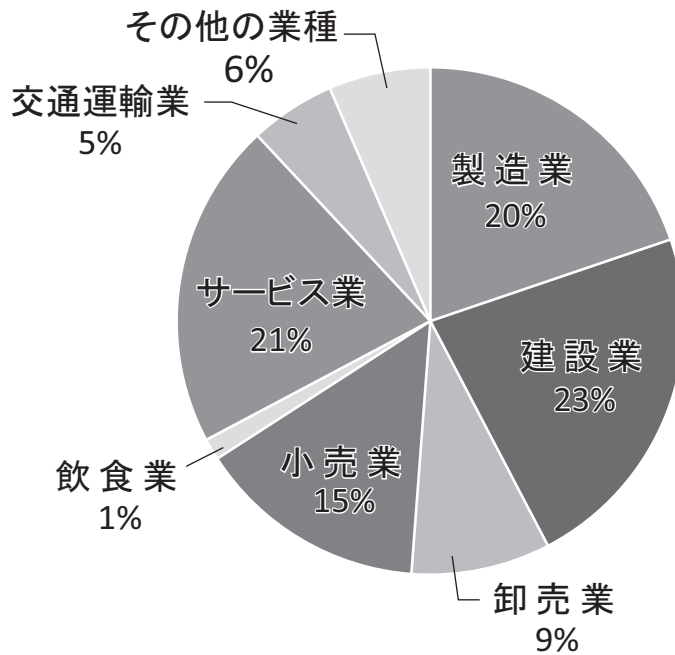
B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	127 43.3	97 33.1	34 11.6	14 4.8	19 6.5	2 0.7	293
製造業	19 32.8	18 31.0	11 19.0	3 5.2	7 12.1	0 0.0	58
建設業	29 43.9	28 42.4	7 10.6	1 1.5	1 1.5	0 0.0	66
卸売業	10 38.5	9 34.6	6 23.1	1 3.8	0 0.0	0 0.0	26
小売業	25 58.1	12 27.9	0 0.0	2 4.7	3 7.0	1 2.3	43
飲食業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4
サービス業	27 44.3	19 31.1	7 11.5	3 4.9	4 6.6	1 1.6	61
交通運輸業	3 18.8	4 25.0	3 18.8	4 25.0	2 12.5	0 0.0	16
その他の業種	10 52.6	7 36.8	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	19

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
25年7月～12月 実績	0.0	△ 0.9	△ 12.9	△ 12.3	△ 23.1	△ 8.1
26年1月～6月 実績	△ 7.2	△ 3.2	△ 16.4	△ 16.2	△ 27.1	△ 7.0
26年7月～12月 実績	△ 16.4	△ 10.2	△ 18.1	△ 18.1	△ 24.2	△ 8.9
27年1月～6月 見通し	△ 29.4	△ 26.0				△ 15.1

産 業 別 D I (26年7～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 19.0	△ 13.8	△ 22.4	△ 24.2	△ 36.2	△ 20.6
建 設 業	△ 7.6	6.0	△ 6.1	△ 10.6	△ 13.7	10.7
卸 売 業	△ 23.1	△ 7.7	△ 30.8	△ 19.3	△ 34.6	△ 7.6
小 売 業	△ 25.6	△ 9.3	△ 23.2	△ 25.7	△ 25.5	△ 16.3
飲 食 業	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0	△ 50.0	△ 25.0
サービス業	△ 8.2	△ 14.8	△ 13.2	△ 18.1	△ 19.7	△ 13.2

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値△16.4は前期△7.2と比べ、9.2ポイントの悪化となった。前回調査時から続けての悪化を示す結果となった。小規模企業は△16.3となっており、前期△7.5と比べ8.8ポイントの悪化となった。全体の業種別ではサービス業で改善、小売業で横ばい、その他の業種では悪化の結果となった。建設業では今期△7.6と前期20.3と比較すると27.9ポイントの悪化となった。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは△29.4と、今期の現状実績値△16.4よりも悪化する見通しを示している。小規模企業でも△26.8の見通しで、同様の見通しを示している。また小規模企業ではサービス業は改善の見通しを示しているほか、その他の業種では悪化の見通しである。













表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	25年7月～12月	26年1月～6月	26年7月～12月	27年1月～6月
全 産 業	0.0 △ 12.3	△ 7.2 △ 7.5	△ 16.4 △ 16.3	△ 29.4 △ 26.8
製 造 業	3.0 △ 13.7	△ 4.8 △ 8.8	△ 19.0 △ 18.9	△ 32.8 △ 35.1
建 設 業	26.8 19.3	20.3 14.5	△ 7.6 △ 8.8	△ 9.1 △ 12.3
卸 売 業	17.7 △ 21.5	△ 6.9 △ 15.4	△ 23.1 △ 20.0	△ 61.6 △ 50.0
小 売 業	△ 8.7 △ 26.0	△ 25.0 △ 36.5	△ 25.6 △ 24.0	△ 44.2 △ 48.0
飲 食 業	△ 0.1 △ 66.6	△ 60.0 △ 75.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 25.0 △ 25.0
サービス業	△ 24.3 △ 33.4	△ 24.7 △ 25.6	△ 8.2 △ 14.8	△ 21.3 △ 11.1

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	25年7月～12月	26年1月～6月	26年7月～12月	27年1月～6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				

卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断 DI

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図-1 津地区の経営の現状と見通し

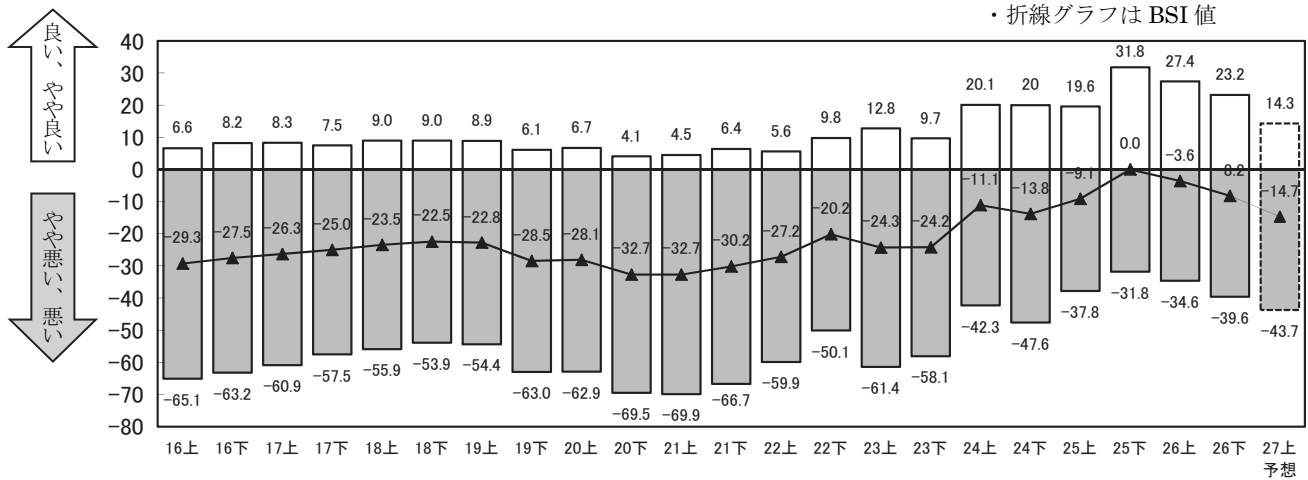
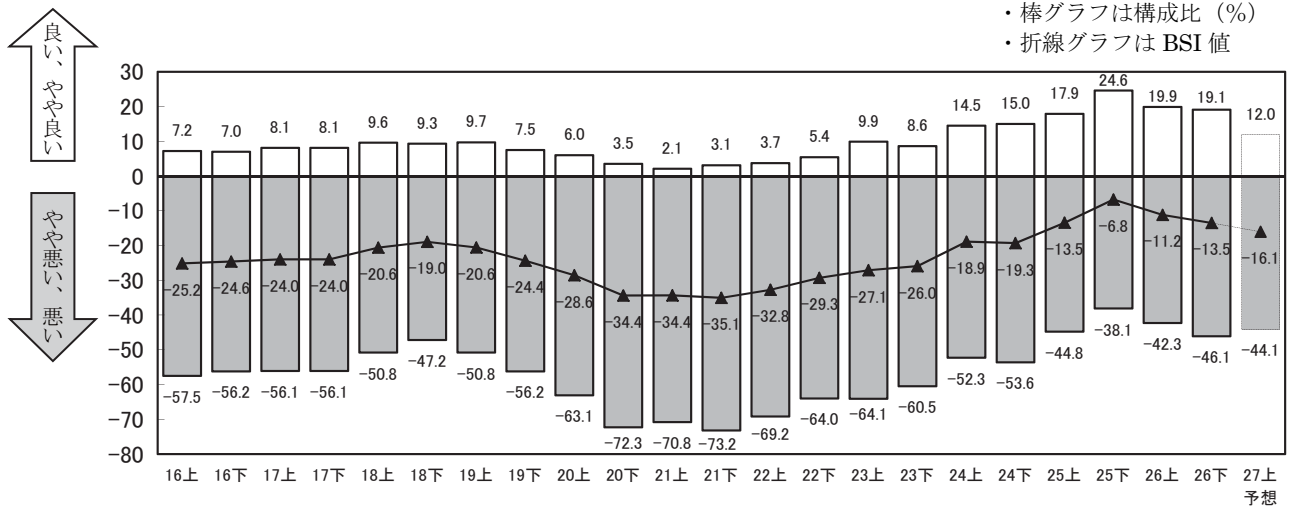


図-2 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

（1）今期の動向

全産業の売上D I は今期△10.2、前期△3.2 と比べ 7.0 ポイントの悪化となった。前々回調査では△0.9 であり、連続して悪化の結果となった。業種別で見ると小売業とサービス業は数値を回復させているが、建設業では前回調査より 23.7 ポイント悪化、卸売業でも 3.5 から△7.7 へ 11.2 ポイント悪化しマイナスへ転じている。

（2）今後の見通し

全産業の売上見通し判断D I は△26.0、今期の現状実績値△10.2と15.8ポイント悪化する見通しとなっている。業種別では、サービス業が横ばいの他は全ての業種で悪化する見通しとなっている。小規模企業ではサービス業は改善の見通しを示しており、今期△22.2から△14.8へ上昇となっている。

















表－2 最近の売上と今後の見通し













	実 績			今後の見通し
	25年7月～12月	26年1月～6月	26年7月～12月	27年1月～6月
全 産 業	△ 0.9 △ 16.9	△ 3.2 △ 7.4	△ 10.2 △ 12.6	△ 26.0 △ 27.4
製 造 業	6.0 △ 11.5	0.0 △ 14.6	△ 13.8 △ 16.2	△ 26.0 △ 29.7
建 設 業	21.2 7.0	29.7 25.3	6.0 1.8	△ 13.7 △ 19.3
卸 売 業	14.7 △ 14.3	3.5 △ 23.1	△ 7.7 △ 10.0	△ 46.2 △ 30.0
小 売 業	2.2 △ 21.8	△ 22.2 △ 31.8	△ 9.3 △ 12.0	△ 39.6 △ 44.0
飲 食 業	△ 33.3 △ 100.0	△ 60.0 △ 75.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 25.0 △ 25.0
サービス業	△ 30.7 △ 50.0	△ 26.0 △ 28.2	△ 14.8 △ 22.2	△ 13.1 △ 14.8

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	25年7月～12月	26年1月～6月	26年7月～12月	27年1月～6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				

小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示
 快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨



景 気 判 断 DI
 50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

3. 売上の現状 (図-3・4参照)

今期売上が増加した企業は全体で293企業中89企業30.4% (前期32.7%)、小規模企業では183企業中52企業28.4% (前期30.4%)。全体、小規模企業ともに横ばいを示している。

一方、今期売上が減少した企業は293企業中119企業40.6% (前期35.9%)、小規模企業では183企業中75企業41.0% (前期37.8%)。全体、小規模企業ともに悪化となった。

図-3 津地区の売上の現状と見通し

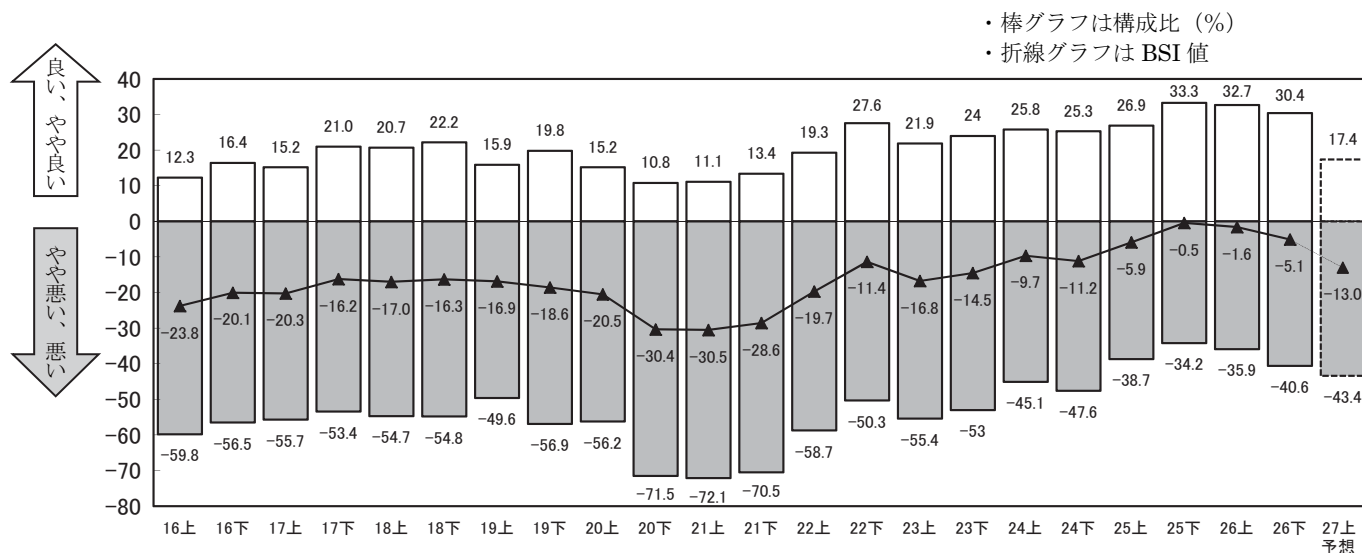
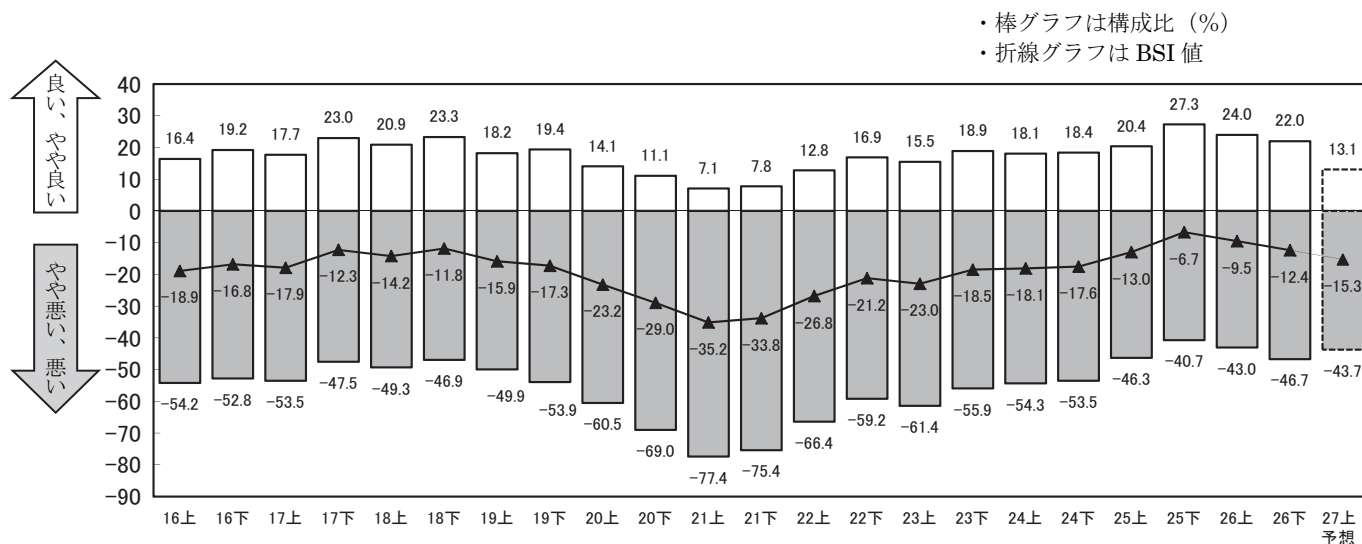


図-4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DIは△18.1と前期△16.4に比べ1.7ポイント悪化した。業種別で見ると建設業が大幅に数値を下げている。サービス業は大幅に数値を上げているが、製造業、小売業は小幅な改善となっている。小規模企業では今期△21.8と前期△17.1と4.7ポイントの悪化となった。特に建設業では23.2ポイントの悪化となっており、小規模企業全体のDIを押し下げている。一方、その他の業種では改善が見られた。

表－3 利益状況

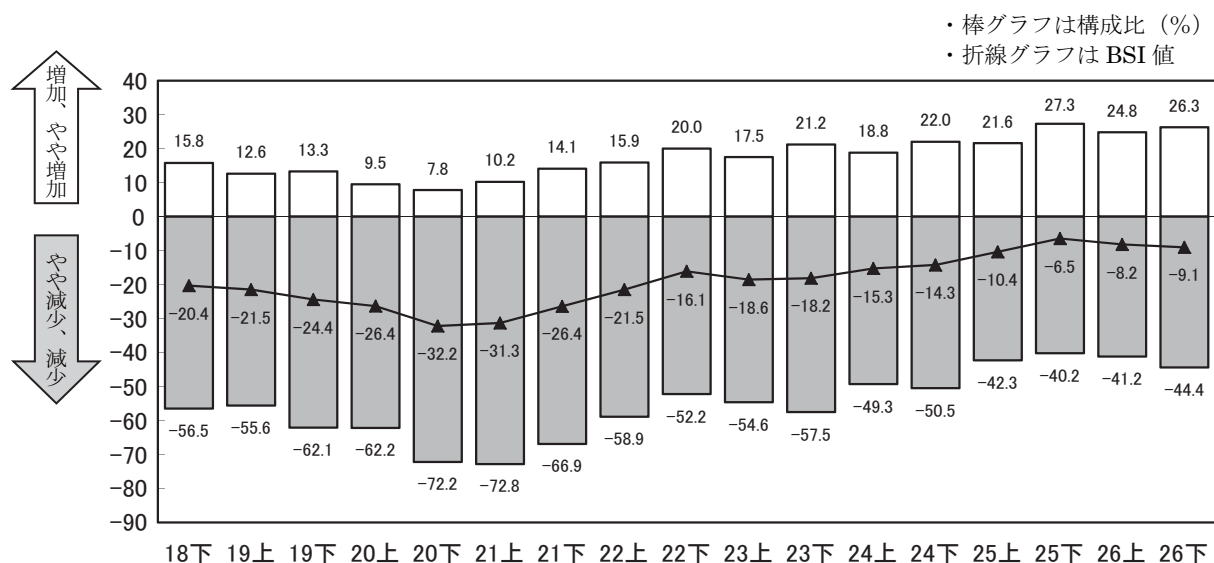
	実 績		
	25年7月～12月期	26年1月～6月期	26年7月～12月期
全 産 業	△ 12.9	△ 16.4	△ 18.1
	△ 23.6	△ 17.1	△ 21.8
製 造 業	△ 16.3	△ 27.0	△ 22.4
	△ 25.1	△ 41.3	△ 29.7
建 設 業	4.2	18.7	△ 6.1
	△ 7.1	14.5	△ 8.7
卸 売 業	△ 3.0	△ 20.6	△ 30.8
	△ 28.6	△ 30.8	△ 20.0
小 売 業	△ 15.2	△ 30.5	△ 23.2
	△ 21.8	△ 36.4	△ 24.0
飲 食 業	△ 83.3	△ 60.0	△ 25.0
	△ 100.0	△ 75.0	△ 25.0
サービス業	△ 24.3	△ 32.5	△ 13.2
	△ 36.1	△ 30.8	△ 25.9

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断DIは△18.1と前期△16.2に比べ1.9ポイント下降となった。業種別で見るとサービス業では6.6ポイント上昇しているが、前回まで好調であった建設業は15.3ポイント下降し、販売条件は悪化している状況がうかがえる。小規模企業の全産業DIではリーマンショック以降なだらかに回復傾向が続いているが、今回は横ばいの数値となっている。

表－4 販売条件

	実 績		
	25年7月～12月期	26年1月～6月期	26年7月～12月期
全 産 業	△ 12.3 △ 17.0	△ 16.2 △ 15.5	△ 18.1 △ 15.9
製 造 業	△ 13.4 △ 18.2	△ 23.9 △ 35.3	△ 24.2 △ 18.9
建 設 業	1.4 △ 3.5	4.7 △ 0.1	△ 10.6 △ 8.8
卸 売 業	△ 5.9 0.0	△ 27.6 △ 15.4	△ 19.3 △ 10.0
小 売 業	△ 17.4 △ 26.1	△ 25.0 △ 27.3	△ 25.7 △ 16.0
飲 食 業	△ 50.0 △ 66.6	△ 60.0 △ 75.0	0.0 0.0
サービス業	△ 21.8 △ 36.1	△ 24.7 △ 23.1	△ 18.1 △ 22.2

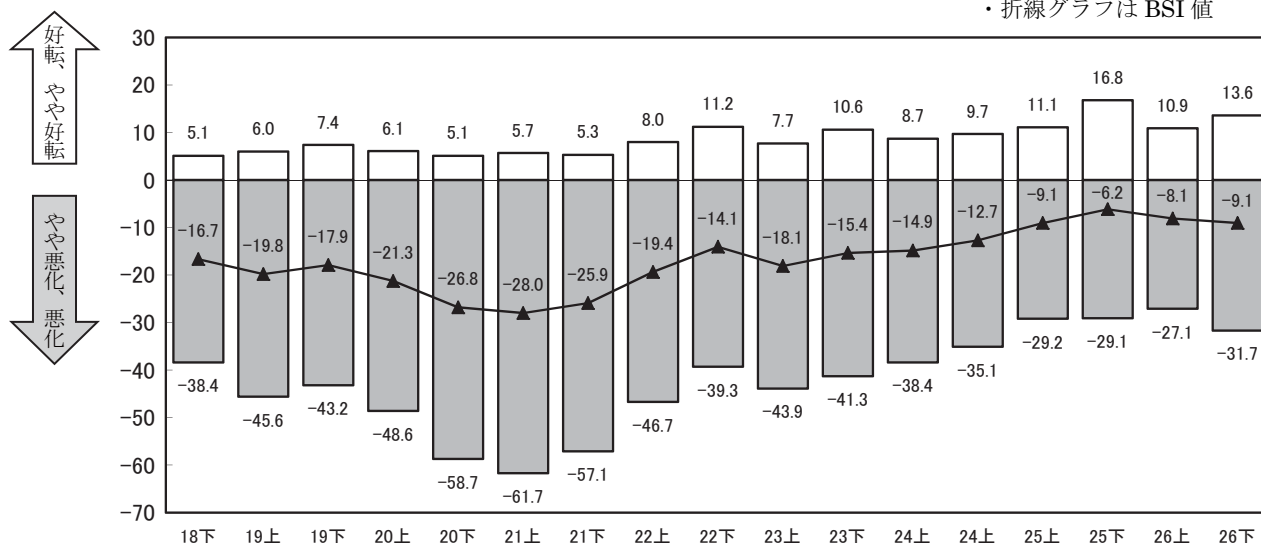
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内DI値は小規模企業

図－6 販売条件

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7参照)

全産業の仕入条件判断DIは△24.2と前期△27.1に比べ、ほぼ横ばいの数値となった。BSI値で見ると△12.1であり、若干の上昇となっている。業種別で見ると前回大幅に上昇した製造業は数値を戻し、9.3ポイント下降となった。製造業DIは、平成24年下期で△19.2、平成25年上期で△32.7、同年下期では△43.3と下降の一途を辿っていたが、前期△26.9と持ち直したところでの下降となった。一方で、小規模企業の建設業では大幅な改善が見られた。

表-5 仕入条件

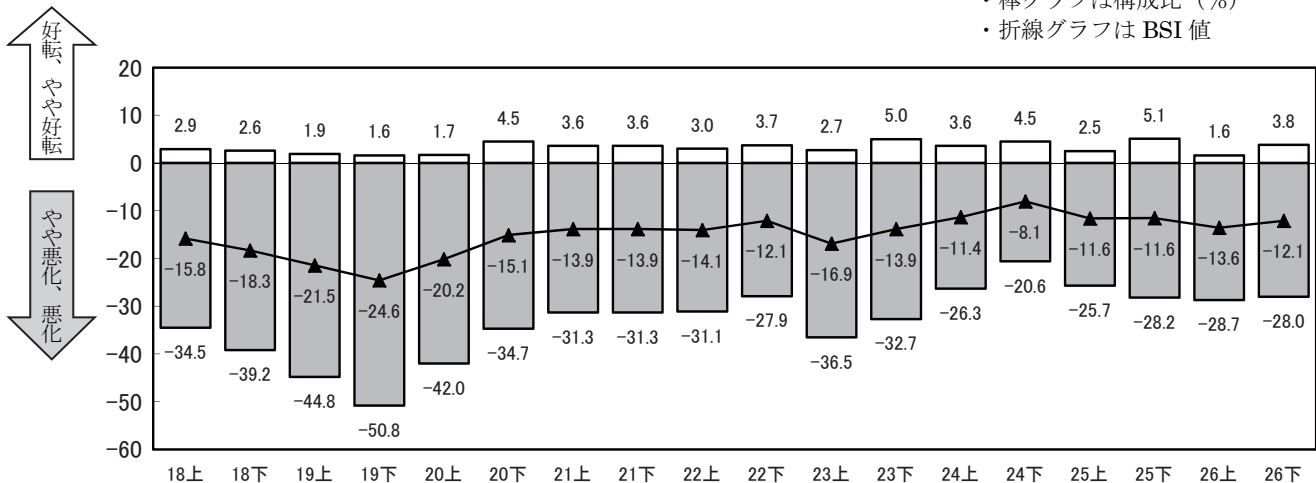
	実 績		
	25年7月～12月期	26年1月～6月期	26年7月～12月期
全 産 業	△ 23.1 △ 24.2	△ 27.1 △ 25.5	△ 24.2 △ 23.5
製 造 業	△ 43.3 △ 40.8	△ 26.9 △ 35.3	△ 36.2 △ 37.8
建 設 業	△ 14.1 △ 15.8	△ 24.9 △ 23.6	△ 13.7 △ 10.4
卸 売 業	△ 23.5 △ 28.6	△ 41.3 △ 30.8	△ 34.6 △ 30.0
小 売 業	△ 15.2 △ 8.7	△ 27.7 △ 22.8	△ 25.5 △ 24.0
飲 食 業	△ 50.0 △ 66.7	△ 60.0 △ 50.0	△ 50.0 △ 50.0
サービス業	△ 19.2 △ 25.0	△ 24.7 △ 20.5	△ 19.7 △ 25.9

DI=好転 (高い) の割合-悪化 (低下) の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件



6. 設備投資（表－6参照）

（1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、293企業中84企業28.7%と前期22.8%と比べ、5.9ポイントの増加となった。業種別では製造業が割合を大きく下げたが、その他の業種では設備投資をした企業の割合は増加した。中でもサービス業は44.3%と大きく増加した。小規模企業においても同様にサービス業が大きく設備投資の実施割合を増やした結果となった。

（2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は293企業中67企業22.9%と今期実績値28.7%に比べ減少の見通しとなっている。製造業は例年並みに回復、一方で卸売業では7.7%まで減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

	実 績			来期計画
	25年7月～12月期	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	26.4	22.8	28.7	22.9
	15.9	14.4	15.8	13.1
製 造 業	37.3	36.5	25.9	36.2
	22.7	14.7	10.8	18.9
建 設 業	15.5	15.6	22.7	15.2
	14.0	16.4	15.8	12.3
卸 売 業	20.6	10.3	23.1	7.7
	21.4	0.0	20.0	10.0
小 売 業	28.3	19.4	25.6	20.9
	4.3	4.5	4.0	8.0
飲 食 業	33.3	20.0	0.0	0.0
	33.3	25.0	0.0	0.0
サービス業	25.6	16.9	44.3	26.2
	13.9	10.3	37.0	18.5

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

（1）今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D Iは△8.9と前期△7.0に比べ1.9ポイントの悪化となった。業種別では建設業と卸売業、サービス業が改善しており、建設業はプラスの値を維持している。一方で製造業は悪化を示した。小規模企業でも建設業は過去5年で比較してもD I値10.5と高い数値を示している。（平成21年7月～12月期は建設業△42.7）

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断DIは△15.1と今期実績値△8.9に比べ、6.2ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。

表－7 資金繰り

	実 績			来期見通し
	25年7月～12月期	26年1月～6月期	26年7月～12月期	27年1月～6月期
全 産 業	△ 8.1 △ 13.4	△ 7.0 △ 6.4	△ 8.9 △ 9.4	△ 15.1 △ 14.2
製 造 業	△ 10.5 △ 20.5	△ 8.0 △ 23.5	△ 20.6 △ 24.3	△ 13.9 △ 16.6
建 設 業	2.8 1.8	7.9 7.3	10.7 10.5	△ 4.5 △ 5.2
卸 売 業	5.9 △ 7.1	△ 17.2 △ 15.4	△ 7.6 0.0	△ 30.8 △ 10.0
小 売 業	△ 4.3 0.0	△ 11.2 △ 4.6	△ 16.3 △ 16.0	△ 16.3 △ 20.0
飲 食 業	△ 50.0 △ 66.6	△ 20.0 △ 50.0	△ 25.0 △ 25.0	△ 25.0 △ 25.0
サービス業	△ 21.8 △ 33.3	△ 20.8 △ 15.4	△ 13.2 △ 14.8	△ 16.4 △ 14.8

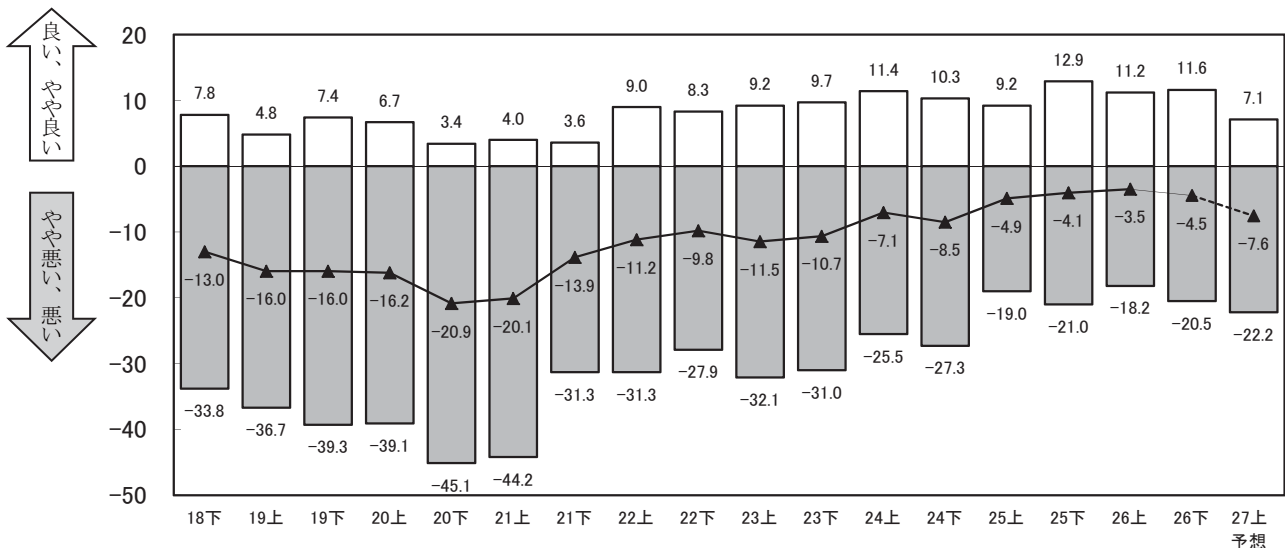
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



8. 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DIは11.4と前期4.9に比べ6.5ポイントの改善となった。小規模企業では7.5と前期より回復の数値となった。業種別では、卸売業が2期連続して回復しており、小規模企業でも回復が見られる。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	25年7月～12月	26年1月～6月	26年7月～12月
全 産 業	6.4 △ 6.7	4.9 1.2	11.4 7.5
製 造 業	12.1 4.7	5.1 0.0	3.1 0.0
建 設 業	8.7 △ 5.8	13.8 10.3	16.2 3.3
卸 売 業	0.0 △ 12.5	11.7 16.6	25.0 25.0
小 売 業	0.0 △ 50.0	5.3 △ 11.1	13.1 11.1
飲 食 業	△ 33.3 △ 100.0	△ 100.0 △ 100.0	0.0 0.0
サービス業	8.3 △ 6.3	△ 5.4 △ 8.3	3.3 33.3

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は293企業中58企業で全体の19.8%、前期は22.4%であり、借入希望は微減でほぼ横ばいである。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は77.6%と前期86.8%と減少である。公的金融機関が19.0%であり、前期13.2%から減少となっている。

資金使途では運転資金は62.1%（前期69.1%）、設備資金37.9%（前期30.9%）となっており、今期では設備資金への資金需要増加が見て取れる。

図-9-① 借入予定

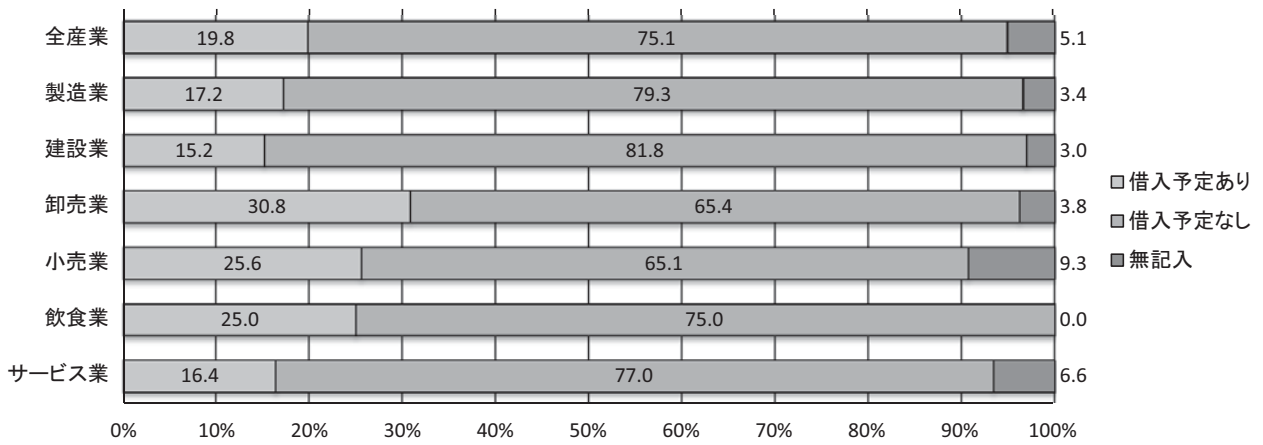


図-9-② 借入希望先

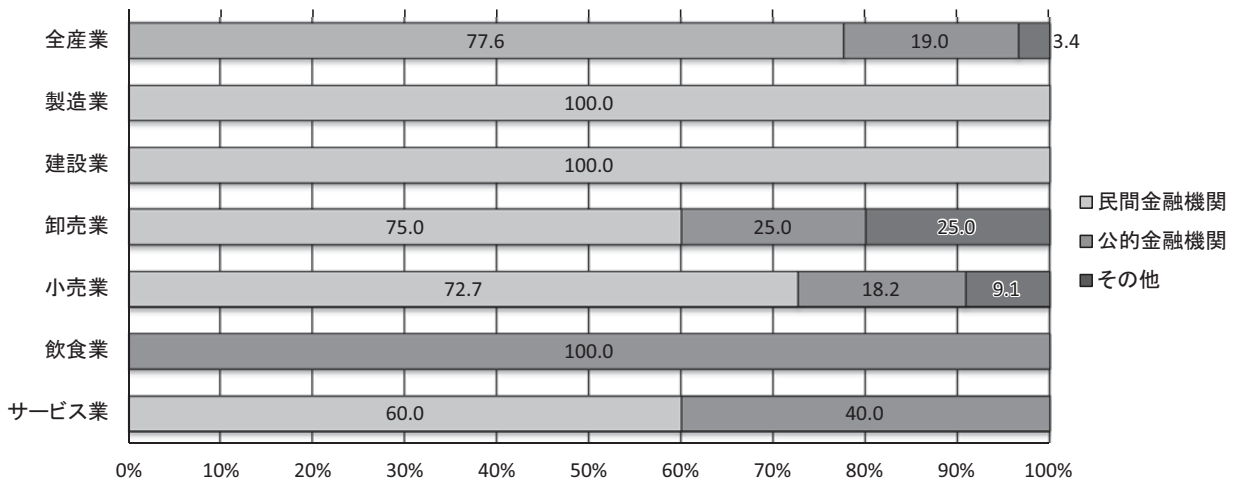
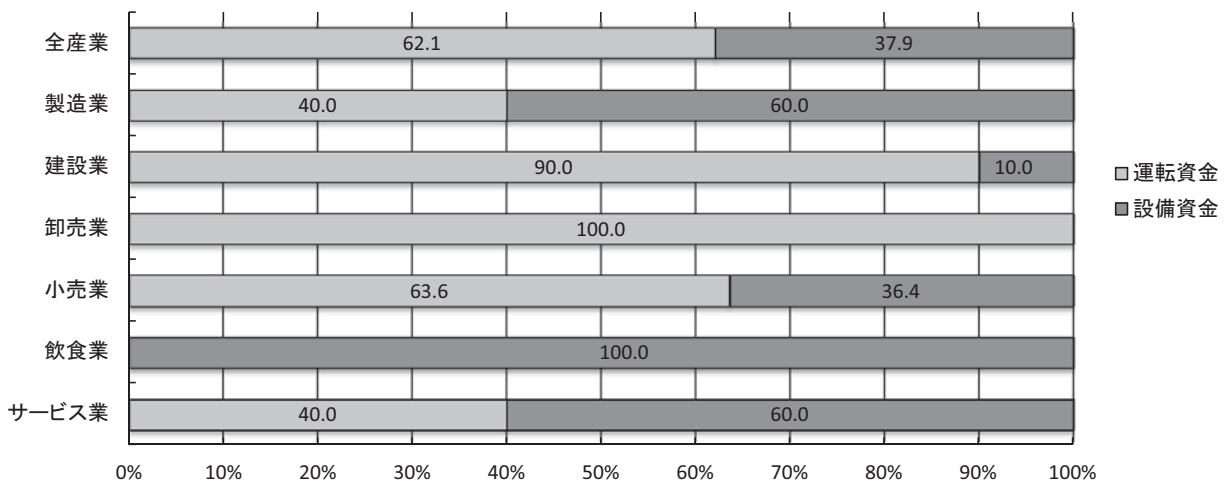


図-9-③ 借入資金の使途予定



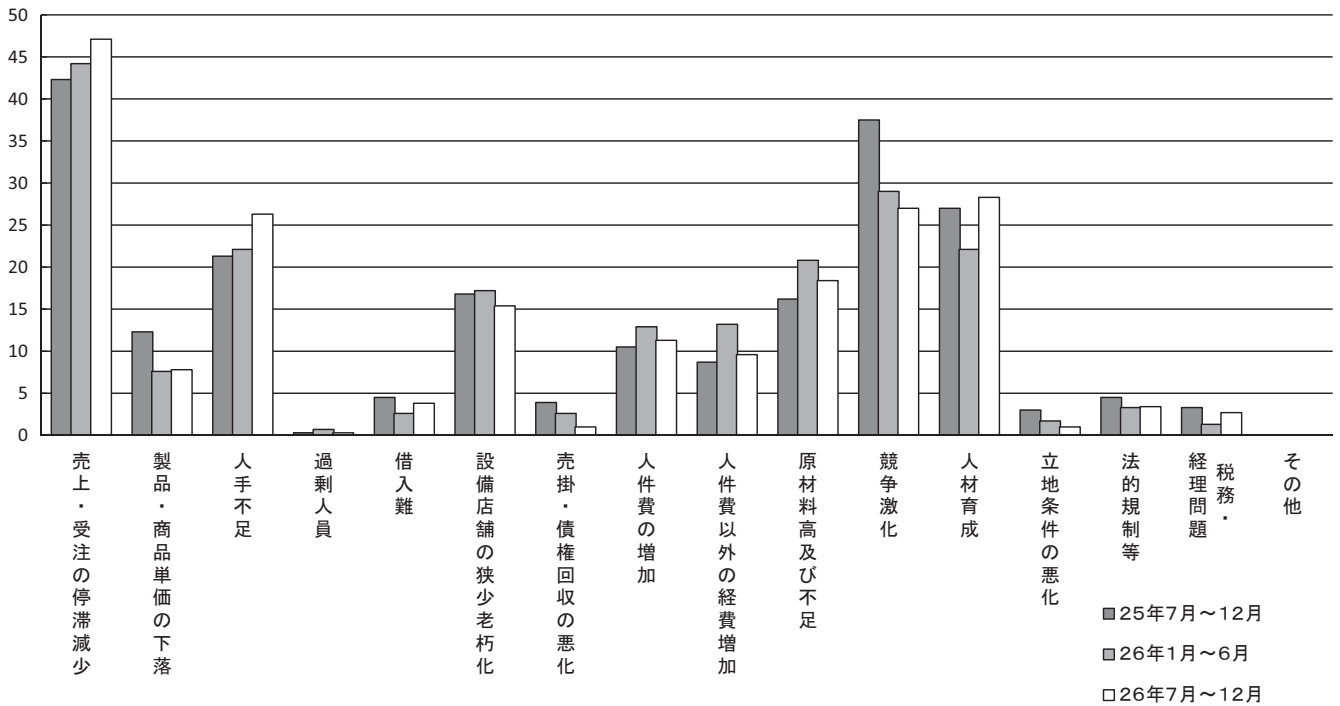
10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

全産業の経営上の問題点は1位は24期連続で「売上・受注の停滞・減少」となったが、2位は23期連続して「競争激化」だったところが「人材育成」となり、2位と3位が逆転した。「競争激化」は前回に引き続き減少し、経営上の問題点に変化が生じていることが見て取れる。一方、「人手不足」は増加傾向であり、「原材料高及び不足」も問題点として捉えられている割合は高い。

業種別で見ると建設業・小売業では、3位以内から「競争激化」は姿を消し、「人手不足」「人材育成」が数値を上げてきている。また、全ての業種で「売上・受注の停滞・減少」が1位となった。

図-10 全産業・経営上の問題点

(単位：%)



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		26年1月～6月期			26年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 44.2	競争激化 29.0	人材育成 22.1	売上・受注の 停滞減少 47.1	人材育成 28.3	競争激化 27.0
	製造業	売上・受注の 停滞減少 38.1	競争激化 33.3	人材育成 25.4	売上・受注の 停滞減少 53.4	原材料高 及び不足 32.8	競争激化 27.6
	建設業	売上・受注の 停滞減少 37.5	人手不足 37.5	競争激化 32.8	売上・受注の 停滞減少 37.5	人手不足 39.4	人材育成 31.8
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 58.6	原材料高 及び不足 37.9	人材育成 24.1	売上・受注の 停滞減少 46.2	人材育成 38.5	競争激化 34.6
	小売業	売上・受注の 停滞減少 50.0	競争激化 30.6	設備店舗の 狭小老朽化 19.4	売上・受注の 停滞減少 60.5	人手不足 23.3	人材育成 23.3
	飲食業	設備店舗の 狭小老朽化 80.0	売上・受注の 停滞減少 60.0	原材料高 及び不足 60.0	売上・受注の 停滞減少 75.0	原材料高 及び不足 50.0	人材育成 25.0
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 48.1	競争激化 36.4	人材育成 24.7	売上・受注の 停滞減少 37.7	人材育成 36.1	競争激化 34.4

景況調査票

平成27年1月

会議所	No.				
-----	-----	--	--	--	--

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

10.11	〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
		6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
	〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
	〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
	〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
	〈飲食業〉	21.飲食店				
	〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
	〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

10.12	1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
-------	---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成26年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

10.13	1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い
-------	------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---

理由:

4. 今後の見通しについて…平成27年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

10.14	1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い	6. わからない
-------	------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---	----------

理由:

5. 売上状況について…平成26年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

10.15	1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
-------	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6. 売上の見通しについて…平成27年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

10.16	1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
-------	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

7. 利益状況について…平成26年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

10.17	1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
-------	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

18

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

10.19	1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
-------	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10. 設備投資について

20	26年7～12月の実績	27年1～6月の予定
	1. 行った	1. 予定あり
	2. 行わない	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成26年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

20	1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
----	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12. 資金繰りの見通しについて…平成27年1～6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

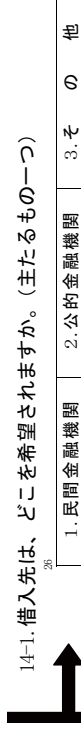
20	1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
----	------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13. 借入の現状について…平成26年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

24	1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
----	------	---	------	---	------	---

14. 借入予定はありますか…(平成27年1～6月)

26	1. 予定している	2. 予定していない
----	-----------	------------



14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

26～30	1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
	2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
	3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
	4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
	5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

※過去の調査結果は当所HPにてご覧いただけます。 <http://www.tsucci.or.jp/index.html>

津地区の景況調査 No.65

平成27年2月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665